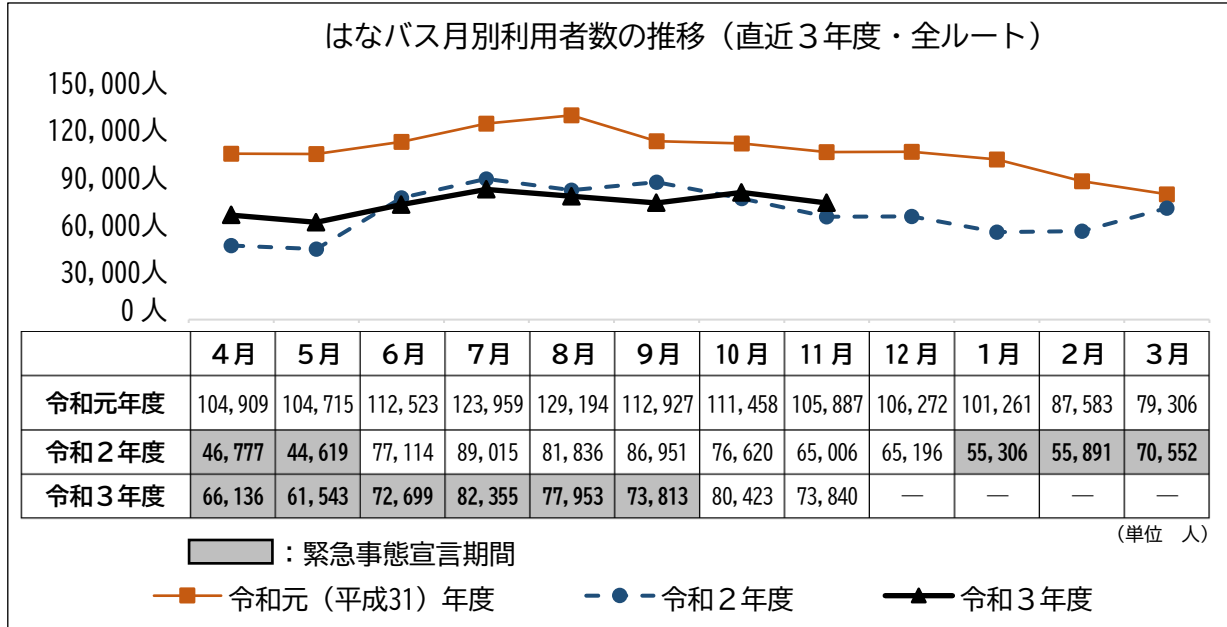


新型コロナウイルス感染症のはなバスへの影響

令和元（平成31）年度（以下「令和元年度」とします。）と令和2年度、3年度（令和3年11月）までの3年度分のはなバス利用者の状況を比較し、新型コロナウイルス感染症の影響について検討しました。

1 事業全体の状況



4月、5月は令和2年度、3年度共に緊急事態宣言中でしたが、利用者数については、新型コロナウイルス感染症拡大による初めての緊急事態宣言が発出された令和2度と比較すると令和3年度は回復傾向が見られました。

しかし、令和2年度は5月下旬に緊急事態宣言が解除されたこともあり、6月以降については、緊急事態宣言が続いた令和3年度実績が下回っています。

緊急事態宣言が解除された令和3年10月、11月以降は、昨年度同月実績を上回っていることから、はなバスの利用者数は、緊急事態宣言や感染者数の動向に影響を受けてきたものと考えられます。

2 敬老回数券の利用状況

全利用者数と敬老回数券利用者数の状況（直近3年度）

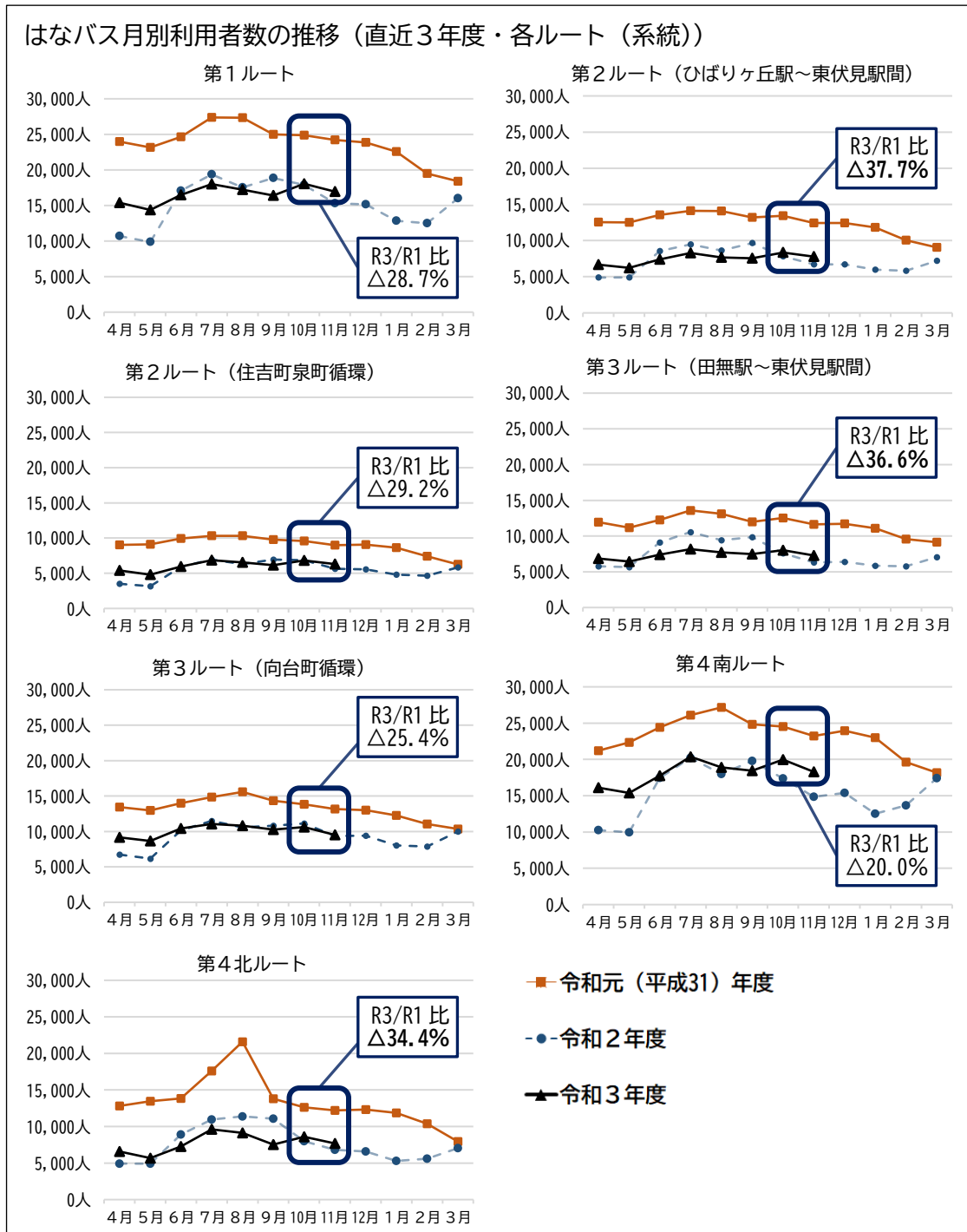
	全利用者		敬老回数券利用者		
	利用者数	令和元年度比	利用者数	令和元年度比	利用割合※2
令和元年度	1,279,994	—	169,323	—	13.2%
令和2年度	814,883	△36.3%	101,612	△40.0%	12.5%
令和3年度※1	514,922	△35.6%	66,284	△36.9%	12.9%

※1 4月から10月までの実績（速報値） ※2 全利用者数に対する回数券利用者数の割合 （単位 人）

令和元年度の利用者数に対する令和2年度、3年度の利用者数及び敬老回数券利用者数の減少割合を比較すると、敬老回数券利用者の減少割合が僅かに高くなっていますが、これは高齢者の重症化等のリスクを考慮した外出自粛などの影響があると思われます。

新型コロナウイルス感染症の影響、「新しい生活様式の定着」を踏まえた今後の改善策の検討に向けては、その他の年代の動向を詳細に把握する必要がありますので、来年度実施予定の実態調査の結果に応じて、具体的な検討を進めていく予定です。

3 各ルート（系統）の状況



今年度の各ルート（系統）の利用状況の傾向は、概ね事業全体の状況と同様になっています。

「第2ルート（駅間）」、「第3ルート（駅間）」、「第4北ルート」については、全体的に回復傾向にある、緊急事態宣言解除後の令和3年度10月、11月実績を令和元年度の同月実績と比較すると、他のルート（系統）よりも回復が鈍い傾向にあります（全体平均△29.0%）。新型コロナウイルス感染症拡大以前から、収支率や利用率等に課題があったルート（系統）であり、今後もこの利用状況が続く場合は、来年度実施予定の実態把握の結果に応じて、早期に抜本的な改善策を検討する必要があると考えています。